

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月 19日

【評価実施概要】

事業所番号	0170401194		
法人名	柏菱建設工業株式会社		
事業所名	グループホームエルムの家		
所在地	札幌市西区八軒5条東2丁目4番16号 (電話) 011-633-2633		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年10月25日	評価確定日	平成19年12月19日

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年8月15日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	26 人	常勤 17人, 非常勤 9人, 常勤換算	22.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	3階建ての	1~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000~45,000 円	その他の経費(月額)	18,000~23,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	500 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	26名	男性 6名	女性 20名
要介護1	9	要介護2	4
要介護3	6	要介護4	5
要介護5	1	要支援2	1
年齢	平均 80歳	最低 44歳	最高 93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	クリニックもりや・八軒循環器病院・札幌宮の沢病院・久保田歯科医院
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は住宅街に立地し、開設して3年以上が経過している。長期に渡って入居している利用者が多く、家庭的な雰囲気の中でゆったりと暮らしている。また、職員は熱意を持って日々のケアサービスに取り組んでおり、報告事項の伝達も徹底されている。職員の在職期間も長く、働きやすい環境が築かれている。今後も自然な流れの中で、利用者が自由に安心して生活することに期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題について即座に改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が自己評価・外部評価の意義や目的を理解しており、全員で話し合っており自己評価に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議において事業所の行事や地域交流・防災訓練等について細部に渡って報告がなされ、活発な意見交換を行っている。また、会議内容については議事録として整備されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	事業所内に意見箱を設置しており、家族が意見・苦情等を伝えやすいよう工夫がなされている。また、職員は家族の来訪時に積極的な声かけをし、家族が気軽に意見等を話せるような雰囲気づくりに努め、信頼関係を深めるよう取り組んでいる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会の行事や事業所主催のイベントを通じて近隣住民と交流しており、地域と連携をとれるよう努めている。また、地域の商店等とは買い物の際に顔馴染みになっており、日常的に交流できるような関係が築かれている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の個性を大切にすることを盛り込み、分かりやすい事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティングや申し送り時に理念を確認し、共有している。また、スタッフルームや来訪者の目のつきやすい場所に理念を掲示している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事や活動に積極的に参加している。また、事業所の行事に近隣住民を招待したりボランティアを受け入れるなど、地域と交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価の意義を理解しており、全職員で自己評価に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	利用者・家族・地域住民・行政職員を構成員とし、2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。会議において行事や防災対策等について討議し、そこで出た意見を事業所の運営に活かしている。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市主催の管理者会議に管理者や事務長が参加している。また、区のグループホーム連絡協議会主催の研修会等を通じて市の担当者と連絡を取る機会が多く、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月個別の便りを作成しており、家族に送付している。金銭管理についても家族の確認後に捺印をもらうなど、徹底されている。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	事業所内に意見箱を設置しており、家族が意見・苦情等を伝えやすいような工夫がなされている。また、来訪時に職員は家族に声をかけをし、コミュニケーションを密に取るよう努めている。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	日頃から他ユニットの利用者と職員の交流が盛んであり、ユニットごとの職員間の異動があった際も利用者へのダメージを防ぐ配慮がなされている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に内部・外部研修へ参加する機会があり、職員は積極的に受講している。また、受講後は他の職員へも報告し、内容の共有を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所と合同の職員研修会を通じて同業者と交流する機会があり、サービスの質の向上を目指して取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に職員が利用者宅を訪問し、馴染みの関係を築いてからの入居となるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者を人生の先輩として接している。また、利用者一人ひとりの得意分野を職員が教えてもらうなど、支え合う関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努め、現状に即したケアサービスとなるよう取り組んでいる。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	家族の意見も採り入れ、全職員で話し合いながら介護計画を作成している。また、毎月のケア会議にてミニカンファレンスを行い、利用者の状態を確認して全員で内容を共有している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	利用者本人・家族の同意を得た上で6ヶ月に1度の見直しを行っている。また、利用者の状態に変化があった場合は、そのつど家族と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	通院への送迎や外出時の付き添いなど、柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	数ヶ所の協力医療機関と提携しており、利用者・家族が希望する医療機関での受診支援を行っている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	契約時に重度化・終末期に向けた同意書を交わし、意向の確認を行っている。また、利用者の状態が変化した場合はそのつど家族と相談し、方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は一人ひとりの誇りを損ねることのないような声かけや対応を心がけており、利用者の尊厳・尊重を大切にしたケアサービスを行っている。また、個人情報保護に関するマニュアルが策定されており、指針に従って適切に取り扱われている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	外出や畑仕事など、一人ひとりのペースを大切にし、その人らしい生活となるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳や後片付けなど、一人ひとりの健康状態に合わせて役割分担が決められており、職員と一緒にしている。また、和やかな雰囲気の中で会話を楽しみながら利用者と職員と一緒に食事を摂っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調を考慮し、一人ひとりの希望に合わせた入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑仕事・花壇作り・外出など、一人ひとりの生活歴や状況に応じた楽しみごとや気晴らしの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や外出など一人ひとりの希望に応じた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は電子錠を使用しており、夜間は防犯上の理由から施錠している。日中は常時開錠しており、鍵をかけない自由な暮らしを支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回防災避難訓練を実施しており、避難器具や消火器の使用法についても本格的に取り組んでいる。また、緊急時に地域住民からの協力が得られるような体制が築かれている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事・水分摂取量を記録しており、職員は把握している。また、利用者の健康状態に応じて粥・刻みなど調理方法を工夫し、量や献立内容にも配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間はユニットごとに飾り付けや展示品等により個性が表れており、利用者が過ごしやすくなるような空間になっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの物が持ち込まれており、本人が安心して暮らせるような工夫がなされている。		

 は、重点項目。